



生田プリーツの心臓部。プロ仕様のミシンが整然と並ぶここは職人の仕事場だ。

株式会社 生田プリーツ

カブシキガイシャイクタプリーツ

創業45年の縫製工場が
その技術を生かして
マスク作りにチャレンジ！



最新の精密マシンの前で、専務の生田貴之さん。チャレンジの心を持ち続ける若きリーダーだ。

「株式会社生田プリーツ」は吉川市中野で45年続く縫製工場。プリーツ加工や縫製、パターン制作を得意とし、その技術の高さから多くのアパレルメーカーと取り引きがある職人集団です。特に看板のプリーツ加工は熟練職人によるハンドメイドで、仕上がりの美しさは国内最高クラスです。

◆**新型コロナウイルス対策**◆
「コロナの影響により受注が激減しました。先行きも見えず途方に暮れていたときに、テレビのニュースが来ました。」

同時にECサイトも立ち上げ、おかげさまでマスクの販売は順調です。工場にも活気が戻り、従業員を休業させることなく事業を継続することが出来ました。」

「株式会社生田プリーツ」
閑静な住宅街にひっそりとたたずむ工場は、その外観からは先進的な縫製工場であることを感じ取ることは出来ず、45年間あくまで地域に寄り添うように歩んできたといった様子でした。中に入るといきなり、大きな布をパソコンで指示した通りに切り取る精密機械がどんと構え、2階には

時代を感じさせるプロ仕様のミシンなどが整然と並び、先進技術と職人技が融合する、まさに職人の仕事場といった感じです。そこで今や生田プリーツの看板商品となったマスクが製作されています。

「マスクが手に入らない方たちを助けたい、そういう気持ちではじめましたが、マスクの製作を通して、職員が一丸となることが出来、販売を買って出してくれた仲間の大切さを実感し、あらためて人のつながりの尊さを感じました。助けられたのは自分の方かもしれないです」

を持ち続ける若きリーダーです。
「また、長年販売をさせてもらっている吉川市にも貢献したいと思い、吉川市のイメージキャラクター「なまりん」をプリントしたのも用意しました。特に「なまりん」のプリントは、同じ市内業者のプリント工場「有有限会社マルタキ」さんにお願ひし、一枚一枚丁寧にプリントされています。」

「仲間が「うちにもマスク置いてあげよう」と次々協力してくれたのがありがたかったです。また、そのタイミングで新聞やネットニュース、ラインニュースなどでも取り上げていただいたので、全国から注文が殺到しました。一時は生産が間に合わないほどで、仲間にはかえって迷惑をかけたかもしれません。」

生田さんは、マスクが完成してからは、コロナの影響で数少なくなっただけのイベントにも積極的に参加し、マスクの販路開拓に奔走しました。販売はその趣旨に賛同した、商工会青年部の店舗や普段馴染みの店が協力に名前を上げました。



一枚ずつシワを伸ばしながら丁寧な作業が行われている。

店舗情報

店名：生田プリーツ
代表者：生田 完治(いくた かんじ)
住所：吉川市中野 137
電話番号：048-982-7861
HP：<https://hibi.store> (EC サイト)
創業45年の縫製工場。プリーツ加工や縫製、パターン制作などを行う



抗菌マスク第2弾！
「吉川市内のお店で取り扱いが始まりました！脇のタックとアゴの切り替えパーツが特徴的な布マスクです。「洋服に合わせやすい」「付け心地が良い」と評判です！カラーは6色、サイズはMとLの2サイズです。ぜひ店頭でご覧ください。気に入ってもらえると嬉しいです！」



清潔感にあふれたポップ。この商品にかかる意気込みが感じられる。

最初に販売した「何度も洗って使える抗菌マスク」。すべてはここから始まりました。この後も夏用マスク、抗菌マスク第2弾と進化していつか。

